



11. サリーガーデン

アイルランドに伝わる伝統的民謡。歌詞は、ある村で農婦がよく口ずさんでいた詩を、アイルランドの詩人イエイツ（イエーツ）が編集したものだという。タイトル「サリー」とは「やなぎの木」の事で、昔のアイルランドの村々では、杖を作ったり屋根の材料として用いたりするために、「サリーガーデン／やなぎの木」を村の郊外に持つことが一般的だったという。

12. イングランドの牛

ベートーヴェンが1813年頃（作者43歳頃）作曲した民謡曲の一つ。25曲あるアイルランドの歌 WoO 152 の中の第12曲に「イングランドの牡牛」がある。ナポレオン戦争でイギリス軍が勝利した1813年頃になると、ベートーヴェンはイギリスの楽譜商・民謡収集家のジョージ・トムソンからの依頼を受け、アイルランド、スコットランド、ウェールズといったイギリス周辺国の民謡を編曲した作品を数多く手がけた。

13. チャールダーシュ

イタリアの作曲家ヴィットーリオ・モンティが作曲した作品。非常に極端で華やかな曲想から、スポーツ競技などで演出に用いられる。また、金管楽器では超絶技巧の曲と知られており、木管楽器においても難度の高い曲である。演奏形式としては前述したピアノ伴奏付きの独奏だけでなく、オーケストラ伴奏の協奏曲風なものや、クラリネット四重奏などのアンサンブルなど様々である。



2017

「敬老のお祝い会」

「いろんな笛」コンサート

2017年9月10日（日）
13:00~14:00
ラポールえるむの杜 自治会主催
演奏者：笛：新林俊哉、伴奏：清水聡子

「いろんな笛」コンサートは、ルネッサンスフルートからバロックフルート、大小様々なリコーダー、ティンホイッスルなど多種の笛を使った、楽しい楽しい「いろんな笛」のコンサートです。いろんな笛の曲を聴いた後、最後に会場の皆さんと一緒に「ふるさと」を一緒に歌いましょう。

★ 新林俊哉 : 笛
北海道大学電子工学科卒業。バロックフルートを中村忠氏、高橋理恵子氏に師事、リコーダーと室内楽を江崎浩司に師事。アンサンブル・リベラ・バロックを主宰。アンサンブルアルモニコ、札幌リコーダー協会、リコーダーを楽しむ会各会員。古楽器によるバロック室内楽を中心にカンターター、コンチェルトなど多数の演奏活動を行っている。また、ルネッサンスフルートからモダンフルート、ケーナなど多種の笛をこなし「いろんな笛」コンサートを開催している。

★ 清水聡子 : ピアノ
札幌大谷短期大学音楽科ピアノコース卒業。教育後援会賞受賞。専攻科、研究科修了。定期演奏会、卒業演奏会、修了演奏会出演。ハンガリー国立リスト音楽院ピアノ科修了。2004年アジア国際音楽コンクールピアノ部門第一位。札幌市民芸術祭新人音楽会、三岸好太郎美術館ミニリサイタル、札幌市市民ロビーコンサート等出演。Kitara&札幌セレクションにて札幌交響楽団と共演。坂上聖子、浅井智子、伊藤巖、アティーラ・ネーメティ、バラージュ・ソコライの各氏に師事（株）ヤマハミュージックリテイリング札幌店ピアノ科講師

みんなで唄う曲

1. ふるさと

1914年（大正3年）の尋常小学唱歌の第六学年用で発表された。長らく作詞作曲者不明だったが、昭和40年代に高野辰之、岡野貞一と同定され、1992年（平成4年）からは音楽の教科書に両者の名前が明記されている。

1) 兎^{うさぎ}追^おい^いし ^{ちちはは}かの山
小^{こぶな}鮎^{あな}釣^つりし ^{つが}かの川
夢^{ゆめ}は今^{いま}も ^{ふるさと}めぐりて
忘^{わす}れ^れがた^たき ^{ふるさと}故^{ふる}郷^{さと}

2) 如^い何^かに在^います ^{ちちはは}父^{ちち}母^{はは}
恙^{つつが}なし^{なし}や ^{つが}友^{とも}が^がき
雨^{あめ}に風^{かぜ}に ^{ふるさと}つ^つけても
思^{おも}い出^いず^ずる ^{ふるさと}故^{ふる}郷^{さと}

3) 志^{こころざし}を ^{はたして}
いつの日^{いつの日}にか ^{ふるさと}帰^{かえ}らん
山^{やま}は青^{あお}き ^{ふるさと}故^{ふる}郷^{さと}
水^{みづ}は清^{あや}き ^{ふるさと}故^{ふる}郷^{さと}



演奏曲：

1. 花は咲く

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングで、日本放送協会（NHK）が震災後の2011年度から行っている震災支援プロジェクト「NHK 東日本大震災プロジェクト」のテーマソングとして使用されている。

作詞は宮城県仙台市出身の岩井俊二、作曲・編曲は同県同市出身^[1]の菅野よう子。

2. 見上げてごらん夜の星を

日本の歌手 坂本九の1963年のヒット曲。作詞永六輔、作曲いずみたく。2002年、全国の天文台が行ったインターネット調査で『星』で思いつく歌」という質問に対して、ディズニー映画ピノキオのテーマ曲「星に願いを」に次いで、本楽曲が2位に選出された。

3. 風笛（かざぶえ ～あすかのテーマ～）

1999年10月4日から2000年4月1日まで放送されたNHK連続テレビ小説「あすか」のテーマ曲。オーボエ奏者・宮本文昭氏がソロを演奏して、大きな話題を集めた楽曲です。

4. 春よ来い

1994年（平成6年）10月3日から翌1995年9月30日まで放送されたNHK連続テレビ小説「春よ、来い」の主題歌。連続テレビ小説で1年シリーズで放送された最後の作品。

作詞・作曲・歌 - 松任谷由実、編曲 - 松任谷正隆

5. アンダンテ K. 315

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトがオランダの裕福な商人フェルディナン・ド・ジャンの依頼に応じて作曲した一連のフルート協奏曲の一つ。1778年の作。素朴だが魅力的な旋律が美しく、時おりピアノ伴奏版で演奏会のアンコールピースなどとして取り上げられる。

6. 愛の挨拶 op. 12

E・エルガーの作品の中では行進曲『威風堂々』第1番や第4番に並んで有名な部類に入る。優美な曲想が幅広い支持を集めている。

7. 小さい秋見つけた

1955年にNHKの特別番組『秋の祭典』の楽曲の1つとして作曲され、伴久美子がソロで歌った。番組内限定の曲であり、当初はレコード化されなかったが、1962年にキングレコードのディレクター長田暁二が合唱に最適な曲として見出した。ボニージャックスの歌唱でレコーディングされ、LP『サトウハチロー童謡集』に収録された。同年末の『第4回日本レコード大賞』で童謡賞を受賞した。

8. 川の流れのように

作詞は秋元康、作曲は見岳章。

「自分の歌から遠い若い世代の人たちにメッセージを残したい」というひばりの意向により製作された。ひばりは自分の人生と本楽曲を重ねて「1滴の雨が木の根を伝い、せせらぎが小川になる。水の流れがあっちにぶつかり、こっちに突き当たりしながらだんだん大きくなる。やがて大河になり、ゆっくりと海にたどり着く」と言い、『愛燦燦』とはまた違う意味の、人生の歌と言っている。

9. イギリスのナイチンゲール

17世紀オランダの盲目の音楽家、ヤコブ・ファン・エイクが披露した当時のヒット・ソングによる変奏曲「笛の楽園」の中の一曲。

10. 小鳥愛好家の楽しみ

1717年に「小鳥愛好家の楽しみ」という楽譜集が出版されました。リコーダー（recorder）の「record」には「記録する」という意味があり、また「to record」には「小鳥のように歌う」という意味があります。もともとはリコーダーではなく、リコーダーのもととなった「フラジョレット」と呼ばれる縦笛の曲です。シェイクスピアの時代から、リコーダーを使って小鳥にメロディーを覚えさせるという習慣があったようです。